



イラク復興支援群活動報告

17. 4. 20

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 日 (4月20日)

- サマーワ主力
- 人員・武器・装具・具状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療：母子病院医療技術指導（サマーワ）
別紙第1「母子病院医療技術指導（サマーワ）」
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - サマーワ工業高校現地偵察
別紙第2「サマーワ工業高校現地偵察」
 - 9カ所（サマーワ×4、マジット、スウェイル、ナジミ、ワルカ、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - ゴミ処分場付帯道路施工状況確認
 - 3カ所（サマーワ×3）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - カラマPHC完成点検（ワルカ）
別紙第3「カラマPHC完成点検（ワルカ）」
 - 3カ所（サマーワ、ワルカ、ヒドル）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - ワルカ浄水場施工状況確認
 - 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 8カ所（サマーワ×7、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業
 - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
 - ・ 寄付関連物資の輸送調整（宿营地）

全 日 (4月20日)

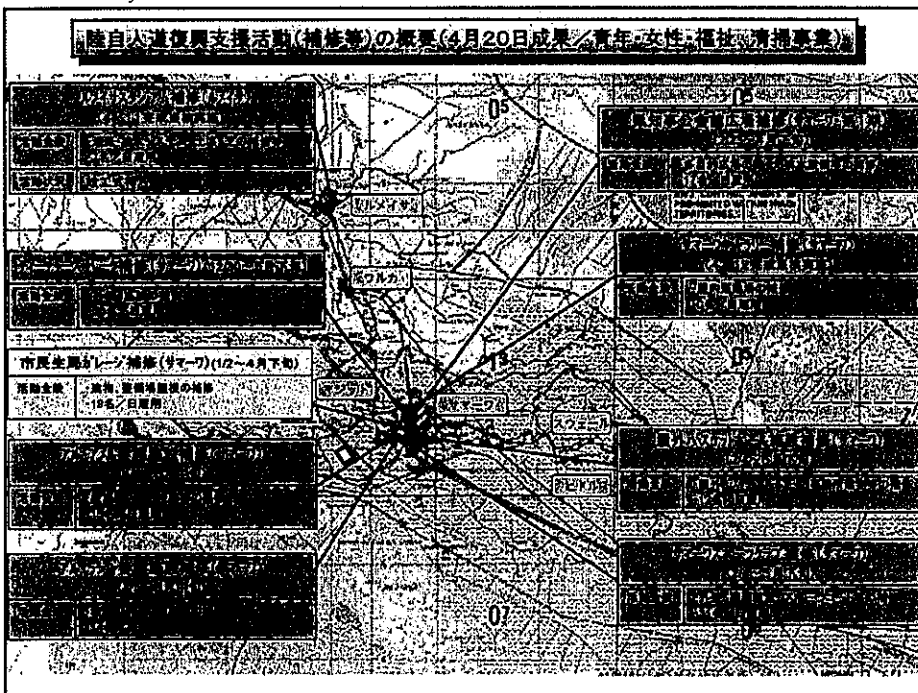
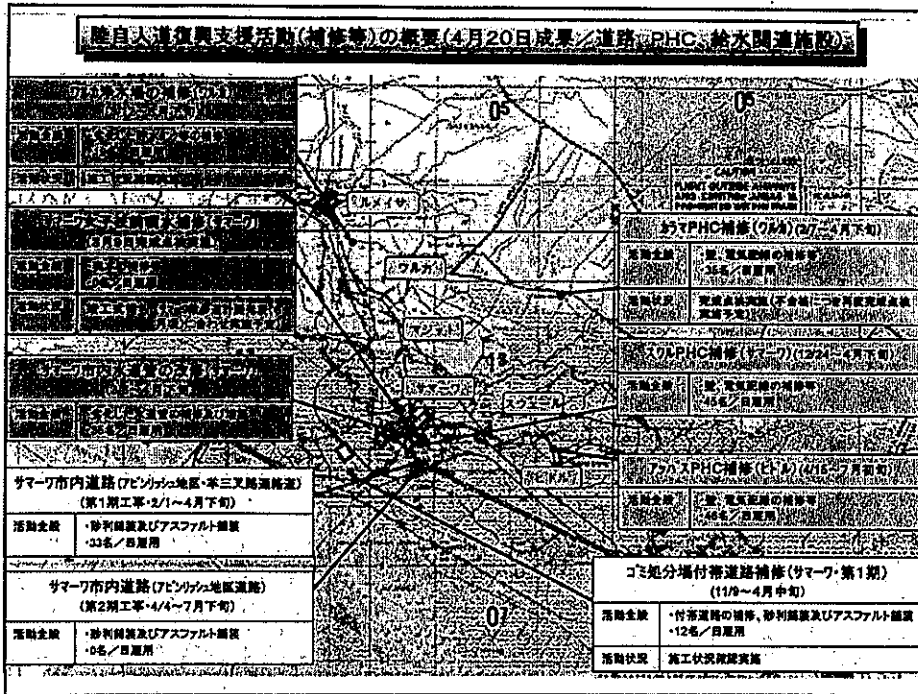
- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 医務室耐弾補修作業
 - ・ 耐弾性強化施設補修作業
 - ・ 浴場排水施設の構築
 - ・ 緊急CP補修
 - ・ コンテナ再配置作業
 - ・ 役務コンボイ車両の誘導
 - ・ 燃料庫補修工事
 - ・ ゲート道整備
 - その他
 - ・ 群長、業支隊長、増田企画官及び外務省小林所長、衆議院イラク支援特別委員会メンバーとのTV電話懇談実施
別紙第4「イラク支援特別委員会とのTV電話懇談」
 - ・ 陸幕メンタルヘルスチーム 福岡1佐以下3名、宿营地到着
 - ・ 内局 山崎部員、宿营地到着
 - ・ 対外調整係長、MND (SE) CIMIC会議参加（バスラ泊）
 - ・ 対外発信関連：FUJ15月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ11両に対し約108t（約24,000人分）が配水された。
4月20日まで計約11,694t（約2,598,000人分）配水（4.5リットル/人・日換算）
 - ・ 4月20日現在の雇用人員
医療（PHC等）126名、学校修復496名、道路補修45名、青年・スポーツ関連116名、
清掃事業関連19名、給水関連54名、通訳58名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、
し尿処理3名、清掃3名、耐弾性強化施設補修作業20名、エンジニア2名、タクシー20名、
床屋2名、弁護士1名、アドバイザー1名、電気工等3名、T-レックス操作等2名
- 計1015名

金 曜 (4月20日)

- クウェート分遣班
 - ・ 戦力回復支援
 - ・ 国境通過支援
 - ・ 大使館定例会議
 - ・ 陸幕メンタルヘルスチームの輸送支援
- バクダッドLO
 - ・ 恒常業務
- バスラLO
 - ・ 恒常業務
- スミッティLO
 - ・ 恒常業務
- クウェート大使館LO
 - ・ 恒常業務

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月20日成果/学校)

7R・ワラス小学校(イラク) (017~5月中旬)	活動全般 ・ 炊事2棟建て、発電機設置、トイレ補修 24名/日雇用	7R・カニヨ男子小学校 7R・ナンマ7女子小学校(ルイサ) (018~6月下旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 20名/日雇用
7R・ハフアイン小学校(サマー) (22~5月下旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 100名/日雇用	7R・アワラス小学校(ワルカ) (01~9月中旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 25名/日雇用
7R・ネルト小学校(サマー) (24~4月下旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 18名/日雇用	7R・シラン小学校(マジク) (178~5月下旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 130名/日雇用
7R・イザハラ女子中学校(サマー) (42~6月下旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 70名/日雇用	7R・アインムラ小学校(ワエト) (178~5月上旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 58名/日雇用
7R・ミラク中学校(サマー) (42~9月中旬)	活動全般 ・ 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 45名/日雇用		



		人員現況																								
上段:増人員数 下段:減人員数																										
区分	所属人員	サマワ			クウェート			バグダット			バスラ			キャンプ・スミヤ			ドバイ			国外			国内			(備考) 人員の交代及び増減人員の内訳
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出国人員	増減人員	所在人員	帰国(帰省)人員	増減人員	所在人員	
5次支援隊	481	481	0 0	481	-	0 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	481	0 0	481	0	0 0	0	
5次警務 派遣隊	10	10	0 0	10	-	0 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0 0	10	0	0 0	0	
業務支援隊	108	75	7 8	72	25	8 8	28	4	0 0	3	4	0 0	5	1	0 0	1	-	0 0	0	108	0 1	109	0	1 0	1	増減1名(内増)は交代要員1名(内増)サマワへ、バスラCANC会派参加1名(サマワ)1名から(バスラ)、業務調整終了3名(ドバイ)帰国、業務調整完了3名(サマワ)帰国、職力調整増減4名(サマワ)1名(バグダット)業務調整終了後サマワからCVへ(増)、職力調整増減74名(サマワ)増減
合計	600	566	7 8	563	25	8 8	28	4	0 0	3	4	0 0	6	1	0 0	1	-	0 0	0	600	0 1	600	0	1 0	1	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数:15名(第5次幹TV電話合計:151名、FOMA合計:336名)

		車 両																計			
区分	車種	小	中	救急	軽	高	W	業	マイ	施	水	燃	冷	セ	大	特	浄		重	溶	修
		型	型	型	甲	機	A	4	ク	設	タンク	料	凍	ミ	型	大	水	レ	接	理	
10	サマワ	13	10	2	44	20	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	187	
	シャイバ																				
	バスラ					1															1
	タリル																				
	バグダット																				
計		13	10	2	44	21	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	188	
KW	キャンプVA	1			2			2	1						6						12
	キャンプアリフジャン																				
	計		1		2			2	1						6						12
総計		14	10	2	46	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	1	1	2	200	

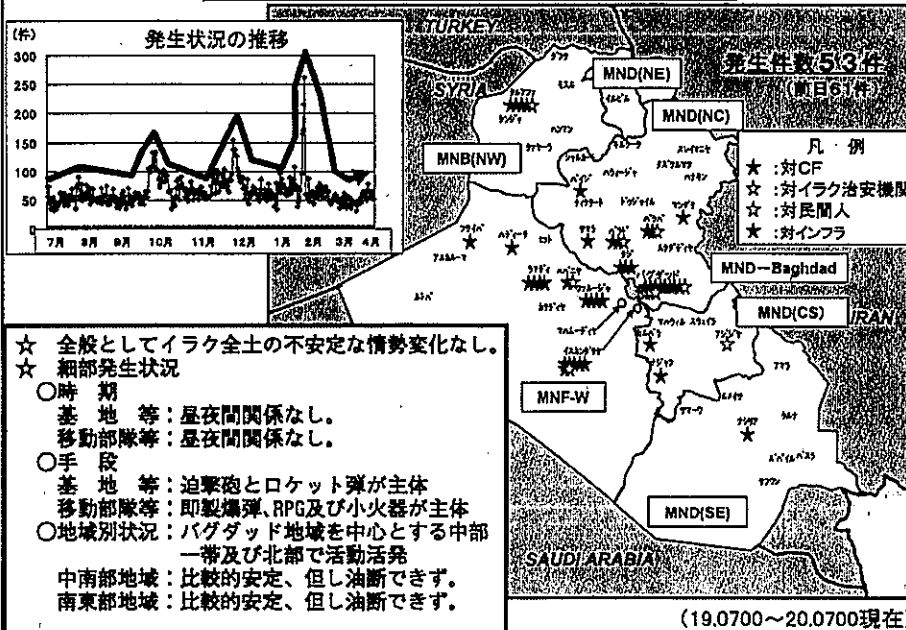
		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリフジャン							
	計							
総 計								

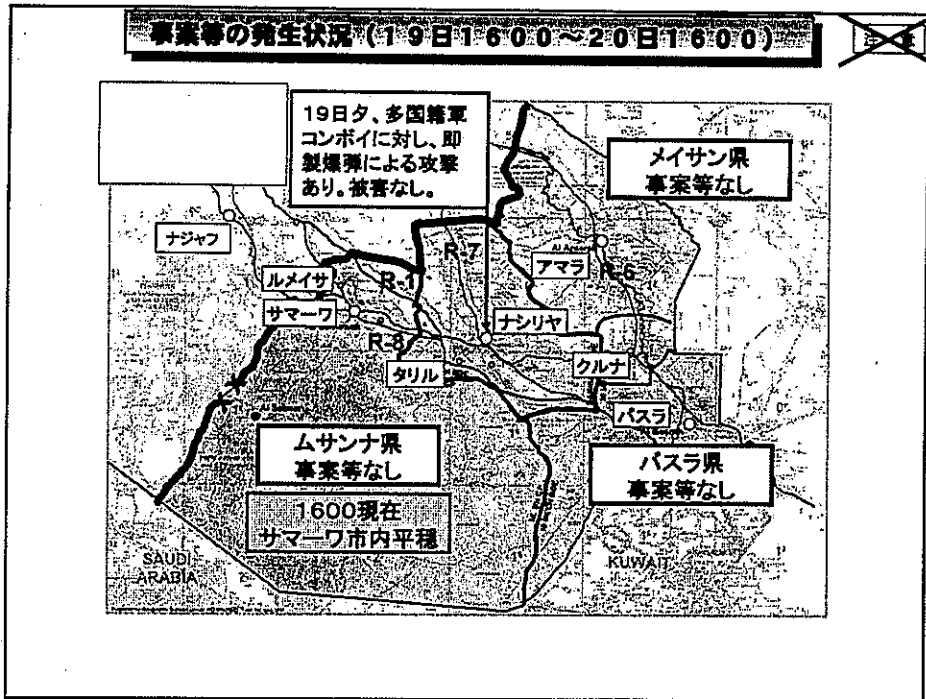
装備品等の可動・不可動の状況①						
項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	203	201	2	0	燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整 バルブ摩耗 WAPC×1底板亀裂	整備待ち 後送待ち
中型ドーザ	1	0	1	0	油漏れ(トルコン油圧ホース不良)	部品待ち
随巻用冷凍冷蔵車	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	1	0	No2:画像映らず	故障探求中
エアコン	657	634	0	23		
発電発電機(6kw)	99	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジンドレーン不良×3	部品待×7 整備待×6 部品待×3
発電発電機(25kw)	70	63	5	2	オイルシール不良×5	部品待×5
発電発電機(60kw)	59	34	0	25		
発電発電機(180kw)	17	17	0	0		
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中

装備品等の可動・不可動の状況②

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	官品	4	4	0	0	
	民生	2	2	0	0	
遠距離監視システム	昼用					
	夜用					
近距離監視システム						
近距離暗視装置(V7)						
微光暗視装置(V3)						
空中監視装置						

全国の事案等の発生状況(昨日)





ウェブサイトにて英軍攻撃の声明

【概要】
 ○18日にイスラム系ウェブサイトにて「イラク南部の英軍に攻撃」の旨の声明文らしきものが掲載

【内容】
 ○2大河の国のジハードのアルカーイダ組織最高指導部は、イラク南部に集結する英国軍に対する重点的攻撃を行なうことを決定
 ○イラクの北部から南部までは地獄となり、イスラム国家の領域に攻撃を導く侵略者であるすべての十字軍戦士の墓場となる。
 ○イギリスはイスラムの正義を保護するためにアメリカのように同じ悲痛な罰を受けなければならない。

【評価】
 ○5月5日の英国総選挙に関連し、多数の死傷者を出すことにより、英国の国民世論を撤退の方向に導きたい狙い
 ○信憑性は低い
 ●本HPは通常、旧パース党残党関連の記事を掲載(アルカイダ系は珍しい。)
 ●声明の体をなしていない。
 ●日本人買事案時の掲載記事等、過去に誤報が多い。
 ↓
 ○過去の傾向から、サマーワにおける脅威はバスラ・アマラに比し低い。英軍は部隊交代に伴うもあり弱点を形成するため、警戒を要する。
 ○陸自を名指したものではないが、巻き込まれ等に注意(特に宿営地外活動時)

サマールの銀行事情について

【概要】

○現在営業している銀行は5行

- ①Al Rasheed Bank
市民の利用最も多い
- ②Al Rafadeen Bank
年金支払銀行、失業者多し
- ③Al Alakary Bank
公務員共済組合的な銀行
- ④Al Zera'ay Bank
農協銀行、最近市民に開放
- ⑤Al Salam Bank
唯一の民間、消費者金融的



- サダム時代から、銀行は存在。現在の定期預金利率は8%程度
- 市民は、タンス貯金よりも銀行に預けるほうが多い(泥棒が出没)
- 金融・年金制度も存在・機能しており、市民の生活レベルは向上

イラク全土の全般情勢評価(4.20)

(4月19日の報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続(北部(モスル)での攻撃増加) ●新政権の主要メンバー決定前後から、若干増加傾向(一日平均40~50件台⇒50~60件台) 	<p>3/7追加</p> <p>4/13追加</p>
スンニ過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサール・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 	4/11追加
バース党派	<ul style="list-style-type: none"> ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 	
国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●4/9のバグダッドでの大規模集会の成功により、存在をアピール⇒12月の選挙には単独で政治参加の可能性 	4/11追加
トレンド(特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●爆発物処理部隊を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件) ●偽物IEDが増加傾向(対処手順を観察か) ●子供を使った手法に留意(IED点火、監視等) 	<p>4/5追加</p> <p>4/19追加</p>

イラク南東部の全般情勢評価 (4/20)

(4月20日をもって一部修正)

区分	内容	備考
全般	●比較的安定→多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト バース党残党	●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バース党残党による多国籍軍(ヘリ含む)への攻撃の可能性 ●英国総選挙に関連、世論操作のための攻撃の可能性	4/20追加
サドル派	●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱 ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 →最近の攻撃はサドル派民兵関与の可能性あり ●幹部殺害事案が多国籍軍批判につながる可能性低し ●サドル派事務所はその存在感を増大させる可能性 ⇒一部の過激分子を抑えられるか否かが今後の鍵	3/12追加 4/16追加 4/11追加
MSR・ASR	・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し、カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ・ASRサークル路面状況悪化(タンバは4/20開通予定)	
タリル空港	・食堂に対する自爆テロ情報(業者を装い)あり ・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒	3/14追加

ムサンナ東の全般情勢評価 (4/20)

(4月20日報告をもって一部修正)

区分	内容	備考
全般	・比較的安定、しかしながら油断は出来ず ・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か ⇒蘭軍のようにスーク等で食事・休憩等しないため、親近感はないとの市民の声あり →明確な敵意等の表示は市内で見られず	3/27追加 3/13追加 4/19追加
スンニ過激派 国際テロリスト	・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり ・英国総選挙に関連、世論操作のための攻撃の可能性	4/20追加
サドル派	・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談) ・サドル派民兵については特異動向なし ・幹部殺害事案が多国籍軍批判につながる可能性低し	3/5追加 4/16追加
部族関連	・土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性	
選挙関連	・アルバイーン終了につき、各種デモ(反知事・雇用・サドル派等)が突発的に生起する可能性→市内活動は注意	4/3追加

現地の気象情報

報告内容

サマータイム

日の出 : 0625

日の入り: 1931

天 候 : 曇り一時晴れ

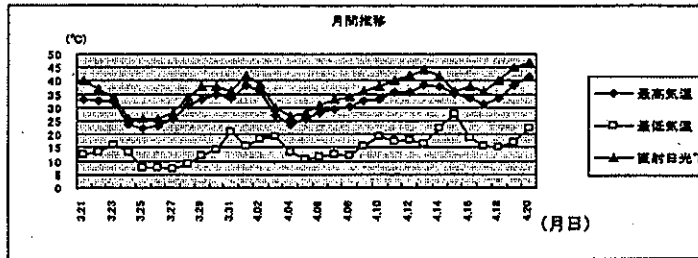
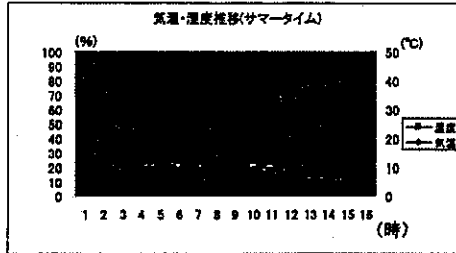
気 温 : 最高41.7°C、最低22.2°C

: 最高47.0°C(直射日光下)

(今期最高記録)

湿 度 : 22.0%

風 速 : NW 3~5 m/s



4月21日(木)の活動予定

サマーワ本隊			
群長(J1)	東支隊長(J2)	対外調整(J21)	対外調整(J22)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
1300-1400: 群本筋ミーティング 1430-1530: 表敬受け ()	0900: 宿営地発 0930-1015: 低所得者用住居(ジャシール地区) 施工開始確認(サマーワ) 1045: 宿営地着 1300-1400: 県評議会議長の表敬受け 1430-1530: 表敬受け向席	0810: 宿営地発 0840-1015: 低所得者用住居(ジャシール地区) 施工開始確認(サマーワ) 1045: 宿営地着	0750: 宿営地発 0850-1000: グラージPHC現地偵察 1100: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング			
	1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)		
	人員20名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)	人員16名 車両3両 (LAV×2) (HMV×1)	人員16名 車両3両 (LAV×2) (HMV×1)

4月21日(木)の活動予定

サマーワ本隊			
対外調整(J23)	会議・会商・情報収集等(J9)	J2ルートチェック(J101)	ルートチェック(J102)
0810-0830:モーニング・ミーティング			
0800:宿営地発 1030-1500:タリル(空港・病院) 現地調査 1700:宿営地着			
1615-1645:イブニング・ミーティング		1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(幹長)	
人員17名 車両4両 (LAV×4)	人員10名(PMR名) 車両2両 (LAV×2)		

4月21日(木)の活動予定

サマーワ本隊			
情報収集(J103)	GRF(J20)	任務警備員配置(S6)	警備(S11)
0810-0830:モーニング・ミーティング			
		0530:宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1130:宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1930:宿営地～運河警戒位置 ～宿営地	
1615-1645:イブニング・ミーティング		1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(幹長)	
		警備中隊計画	

4月21日(木)の活動予定

サマーワ本隊			
浄水活動(S12)	宿営地内工事・作業(S13)	群主力の行動(S15)	空中監視活動(S16)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0730-1200: 大量送水システム 整備・運転	0800-1600: 既務室耐弾補修 作業 0800-1600: 耐弾性強化施設 補修作業 0800-1600: 浴場排水施設の 構築 0800-1600: 緊急CP補修 0800-1600: コンテナ再配置作 業 0800-1600: 燃料庫補修工事	0800-1600: 宿営地内業務	0730-0730
1615-1645: イブニング・ミーティング 1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)			
給水隊計画	施設隊等計画	群S-1計画	群S-2計画

4月21日(木)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦力回復支援 ・ 通信器材整備 ・ 空自司令来訪対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務

サマーキャンプ(2008.10)

○ 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認

○ 警備態勢: [Redacted]

○ 群長指導事項:
 - 「初心忘れるべからず」とはよく言うが、実行するのはなかなか難しいものである。人間は時間が経つにつれて、周りに対する感謝の気持ちや、他人を思いやる気持ちが疎かになりがちである。第5次群として活動を開始してからまもなく約2ヶ月となるが、各人が、出国した時の気持ち、初めてサマーフに来た時の気持ちを思い出して、我々がここで活動することの意味、そして我々の行うべき事項をここでもう一度考える様にしてもらいたい。

サマーキャンプ(2008.6.15)

○ 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認

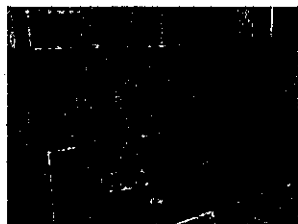
○ 警備態勢: [Redacted]

○ 群長指導事項
 - 本日の衆議院イラク支援特別委員会メンバーとのTV電話懇談は、我々の活動について良く理解してもらった機会となり、とても良かったと認識している。しかしながら、事前に準備してあった事業件数等に関する資料に数字の食い違いがあったのは良くない。我々の発信する数字というものは、我々の活動実績の根拠となるので、運用サイドと広報サイドはよく詰めて、確実に一致させるようにせよ。
 - 広報の紹介してくれた地元新聞の中に、我々の活動に対するクレームの様な記事があるが、これは1つの兆候と捉え、その背景も含めて良く分析して対応する必要がある。対外調整、事業評価班及び広報等は、互いに良く連携してしっかりと対応するようにせよ。今後、暑さが厳しくなると、住民の不平不満が我々の活動に対して向く可能性もある。今のうちからのその対処法についてよく検討しておくことが大切である。

母子病院医療技術指導(サマーフ)



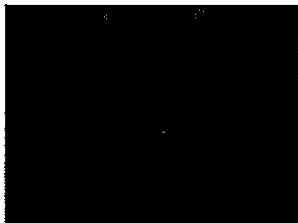
衛生学長によるレクチャーの様子



血液検査装置の設置



検査装置で検査を受けるイラク人看護師



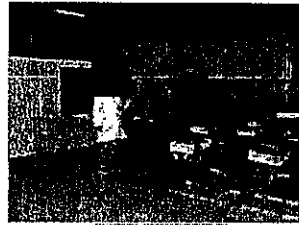
イラク人医師の診察

サマーワ工業高校現地偵察

別紙第2



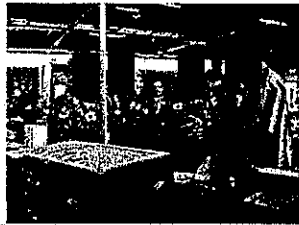
学校内部全景



授業の様子



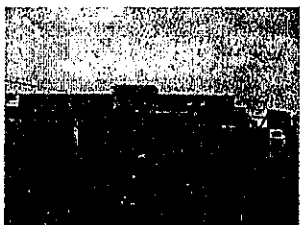
現地偵察中の職員



現地偵察中の職員と杉山技官(左)

カラマPHC完成点検(ワルカ)
※本日不具合につき、後日再度完成点検実施予定

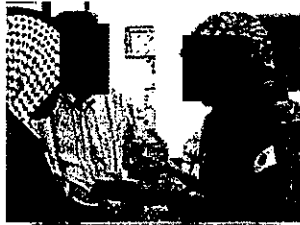
別紙第3



PHC全景



工事未完成の状況

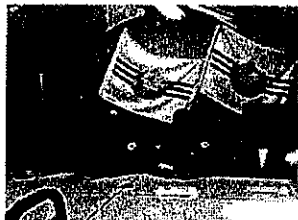


完成点検実施中の職員

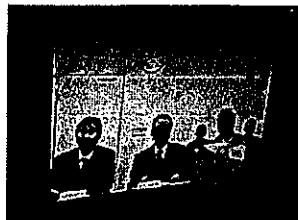


神妙な顔つきでC.P.C.を点検するコントラクター

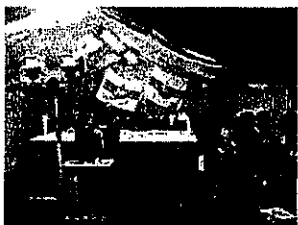
衆議院イラク支援特別委員会とのTV電話懇談



懇談中の様子



委員長 船田 議員 池田 議員の方



電話懇談全景



議員の方

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威 (2) イラク全球に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [] バグダッドは [] モスルは []
2 特記事項	なし
3 本日の業務	(1) C2勤務 ・ 昼間 (0900-2100) 勤務: [] 夜間 (1930-0730) 勤務: [] (2) 情報収集及び情報資料の送付等 ア 兼支隊及び統率情報要求対応 ・ ムサンナ県以外のCIMIC情報収集継続 (3科) イ C2スタッフ送付件数 7 件
4 明日の予定	1 情報収集及び業務調整 2 車両整備
5 その他 (備考)	[] 戦力回復(4月19~27日)

バスラLO日々業務報告(4月20日1900)	
区分	内容
1 警戒態勢等	バスラ空港 ・警戒レベル : ・警戒態勢 :
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 輸送隊等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、海軍・英軍展開関連、BLUE on BLUE関連 MND(SE) OPO 02-05関連、地元メディア関連 (3) 定例情報収集 : (4) 定例会議への出席 : 司令部初会議・夕会議、J2 露露統一会議、J3 露露統一会議 (5) 各種会議等参加調整 ア イ ウ (5) (6) (連絡班長のため代理出席) (7) CIMIC会議参加() 参加支援
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席 (4) 各種会議等調整
5 その他(備考)	特になし

クウェート分遣班業務報告 17.4.20	
全般	
○国内情勢等 ○人員・武器等異状なし ○人員報告:所属人員24名 事故人員2名(サマーワ業務支援2名) 現在員22名 ○戦力回復支援、国境通過支援、メンタルヘルス診療支援者等の輸送支援等実施	○天候:晴 ○気温:21~38℃ (直射日光下の最高気温50℃)
本日の活動状況	
恒常業務	その他
○戦力回復支援(キャンプバージニア~アリアルサレム) 戦力回復終了者・実施者の輸送等 ○国境通過支援(ナビスタ) 役務輸送車両の国境通過支援 ○大使館定例会議(在クウェート大使館)	○メンタルヘルス診療支援者等の輸送支援等 メンタルヘルス診療支援者及び内局部員のアリアルサレム基地までの輸送支援等 ○サマーワ業務支援 分遣班2名が空路で移動し、サマーワで業務支援
明日の予定	
恒常業務	その他
○戦力回復支援 ・戦力回復実施者の輸送支援 ・旅行者と次週戦力回復の調整及び支払 ○通信器材整備 通信器材の交換準備	○空自司令対応(キャンプバージニア) 空自派遣輸送航空隊の部隊交代に伴う新旧司令来訪の対応 ○「100日祭」実施 展開100日記念の懇親会を実施
その他(教訓・要望事項等)	
特になし。	